

令和6年度 学校関係者評価報告書

令和7年3月24日
ユービック情報専門学校
学校評価委員会

I. 経過

第1回学校評価委員会

令和6年7月29日開催

- ・会長選出
- ・今年度の学校計画と現状について
- ・学校運営、教育活動の説明

第2回学校評価委員会

令和6年10月29日開催

- ・学校経営計画の中間報告
- ・9月27日実施の授業アンケート結果の説明

第3回学校評価委員会

令和7年3月24日開催

- ・委員会の最終評価と目標に対する自己評価
- ・2月13日実施の授業アンケート結果の説明

II. 関係者評価報告

1. 自己評価について

おおむね良好であり、妥当な評価と思われる。一部評価の低い箇所があるが、小規模校という特色がある中で、それぞれの目標に向かってしっかりと教育活動に取り組まれていることが伺える。

また、アンケートの結果から日頃から先生方が丁寧な教科指導を行い、学生の実態把握に努めながら、「寄り添う指導」を実践しておられることは評価できる。

- 「(3) 教育活動 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」においては、卒業後すぐに実社会に出ていく社会人を育成するという専門学校で、就職セミナーや企業説明会、インターシップをカリキュラム上に位置づけて実施していることについては、キャリア教育等の観点において効果があり、評価したい。
- 「(3) 教育活動 「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか」においては、各コースが教室内での講義式授業だけでなく、地域社会との連携や校外への施設見学・学外コンクールへの応募など様々な取り組み

を計画し実施した。特に、ビジネス系コースの学生が昨年度から「綾部市との観光交流プロジェクト」を展開しており、観光協会と連携し、現地探索、学生成果発表会での物産販売等を行った。また、「GAMO 4 BAKERY PAO」プロジェクトでは、「特定非営利活動法人 燦然会 × ユービック情報専門学校」のコラボレーションプロジェクトで、燦然会が運営する「GAMO 4 BAKERY」というパン屋を応援する目的でスタートし、店舗の現状を聞き取り、新メニューの開発やパンの値札、ポスターを製作するなどコラボレーションプロジェクトに取り組んだ。このような地域社会と実際に連携した取り組みによって、学生のコミュニケーション力や企画力の向上の観点において教育効果がみられた。その成果をビジネス系・総合キャリア系のカリキュラムの充実につなげたい。

- 「(3) 教育活動 「資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるのか」においては、円滑な指導体制を整備し、系統的なカリキュラムを通して、学生の能力向上を図った。特に、より高度な各種資格試験での挑戦を通して第1種電気工事士試験において、昨年度10名であった合格者に対して、今年度も6名の合格者を維持できたことは評価できる。
- 「(4) 学生支援 「高校・高等学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか」においては、本校への理解を深める上でも有益であると思われるため、系列校を含め、今後充実させて欲しい。

III. その他について

1. 入学者の増加について

今年度の広報活動においては、新たなイベントの実施、体験内容の特色化、Webページ等のタイムリーな情報を提供し、学校訪問や出前授業等の活動を行ってきた。少子化の影響も受け、入学者の目標(45名)を達成には至らなかったが、昨年度(26名)を上回る入学者(36名)を獲得できた。今後も受験生や保護者のニーズを踏まえた上で、より一層効果的な広報活動を行う必要がある。

2. 学習成果発表会「UBIK Fes2024」について

- 1年間の学習成果を発表する成果発表会が、今年も1月28日に実施した。今年度は保護者・卒業生をはじめ、高校生、就職先企業、地域住民等、例年を上回る過去最高の111組の来場者があり、学生が積極的に行事に取り組んでいる様子を外部に披露することができた。
- IT系・ビジネス系・医療系・電気系の各コースの代表者が、自分のコースの学習内容や時事問題研究について、プレゼンテーションを実施した。
- 「電気工事士技能競技大会」では、多くの学生・保護者、企業担当者が、熱心に見学・応援されていた。優勝チームを表彰することにより、自己肯定感と自己有用感の高揚や、学習意欲の向上などにつなげた。